

シチズンサイエンス・当事者研究が拓く 次世代の科学：新しい世界線の開拓

令和2年7月25日（土）13：00～16：30

手話通訳・要約筆記あり

講演

「学界にとっての当事者研究の意義」

熊谷晋一郎（東京大学先端科学技術研究センター准教授）

「べてるの家における当事者研究の実践」

向谷地生良（北海道医療大学教授/浦河べてるの家理事）

「共用品の思想—日用品を通して当事者が変える社会」

星川 安之（公益財団法人共用品推進機構専務理事・事務局長）

「学術のノーマライゼーションに向けて」

松原 洋子（学校法人立命館副総長/立命館大学副学長）

総合討論（パネルディスカッション）

「当事者の視点を組み入れた学術の新しい形

—シチズンサイエンスと当事者研究の融合」

ファシリテーター 中村 征樹（大阪大学 全学教育推進機構准教授）

パネリスト 上記講演者

高瀬 堅吉（自治医科大学大学院医学研究科教授）

お申し込みはこちらのURLにアクセスし、
必要事項を記入のうえ行ってください。

<https://bit.ly/3hOAP00>

